

太陽地区の事業の効用に関する説明資料

事業名	農地保全事業（地すべり対策事業）	都道府県名	北海道	地区名	太陽
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1. 地区の概要

- ① 関係市町村：北海道新冠郡新冠町
- ② 受益面積：39ha
- ③ 主要工事：抑止工（法面工6,279m²、土留工80m、杭打工120m、法枠工85m）
 地表水排除工（水路工3,617m）
 地下水排除工（集水井工4箇所、横穴工3,726m）
- ④ 事業費：1,276百万円
- ⑤ 事業期間：平成4年度～平成23年度（最終計画変更：平成16年度）
- ⑥ 関連事業：なし

2. 投資効率の算定

（単位：千円）

区 分	算定式	数 値	備 考
総事業費	①	1,470,665	
年総効果額	②	85,410	
廃用損失額	③	0	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	40年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0521	総合耐用年数に応じ、年総効果額から妥当投資額を算定するための係数
妥当投資額	⑥＝②÷⑤－③	1,639,347	
投資効率	⑦＝⑥÷①	1.11	

3. 年総効果額の総括

（単位：千円）

区 分	年総効果額	効 果 の 要 因
生産基盤保全効果		
災害防止効果	85,410	地すべり対策施設の整備により地すべりの発生に伴う被害が軽減される効果
計	85,410	

4. 効果額の算定方法

(1) 災害防止効果

○効果の考え方

地すべり対策施設の整備により、地すべりの発生に伴う作物、農用地、農業用施設、一般資産及び公共資産の被害が防止又は軽減される効果。

○対象施設

水田、普通畑、山林、採草放牧地、宅地、施設用地、道路、河川

○効果算定式

年効果額＝想定被害軽減額×還元率

○年効果額の算定

想定被害軽減額 ①	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②	備考
千円 1,691,294	0.0505	千円 85,410	耐用年数40年

- ・ 想定被害軽減額：最終計画変更時点（H16）の基本計画書に記載された各種諸元を基に算定
- ・ 還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

5. 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省構造改善局計画部監修（1988）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知（平成29年3月24日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（平成29年3月24日付け農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 費用算定に必要な各種諸元については、北海道農政部農村計画課調べ

【便益】

- ・ 北海道（平成16年度）「太陽地区基本計画書」
- ・ 北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報（農林編）」
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成22年）「2010農林業センサス」
- ・ 便益算定に必要な各種諸元は、北海道農政部農村計画課調べ